

# 第 11 回島田市都市計画マスタープラン等 まちづくり市民会議 議 事 要 旨

◆日 時：令和元年7月25日（木）18：45～21：00

◆場 所：おおるり第3多目的室

◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田 真知子	自営業（ヨガインストラクター）	
	荒井 浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚 康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	北川 雅之	島田商工会議所	会長
	木村 恭輔	島田青年会議所	※欠席
	鶴川 忠章	島田市社会福祉協議会	※欠席
	新聞 康博	島田市自治会連合会	副会長
	太田 拓男	島田市自治会連合会	
	大塚 弘子	交通事業者（タクシー協会）	
その他	北川 有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部	※欠席
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎 大二朗	地域生活部 市民協働課	
	安達 佑美	地域生活部 生活安心課	
	松下 未奈子	行政経営部 人事課	

（事務局）：島田市都市基盤部

都市政策課 大畑課長、大池係長、田村主査

（事務局補助）：株式会社オオバ名古屋支店 小柳、丸山、竹内、緒方

## ◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
  - 【テーマ】：『都市の骨格構造』（拠点とネットワーク）
  - （1）島田市における移動手段
  - （2）他市の事例紹介
  - （3）グループワーク  
～島田市の拠点とネットワークについて検討しよう～
4. その他
  - ・次回市民会議について  
日時：令和元年10月頃（未定）
5. 閉会

## ◆配布資料

- ・資料 1 市民会議スケジュール
- ・資料 2 第10回市民会議議事要旨
- ・資料 3-1 島田市における移動手段の状況
- ・資料 3-2 多様な交通手段の例

## ■議事要旨

### 「島田市の拠点とネットワークについて検討しよう」

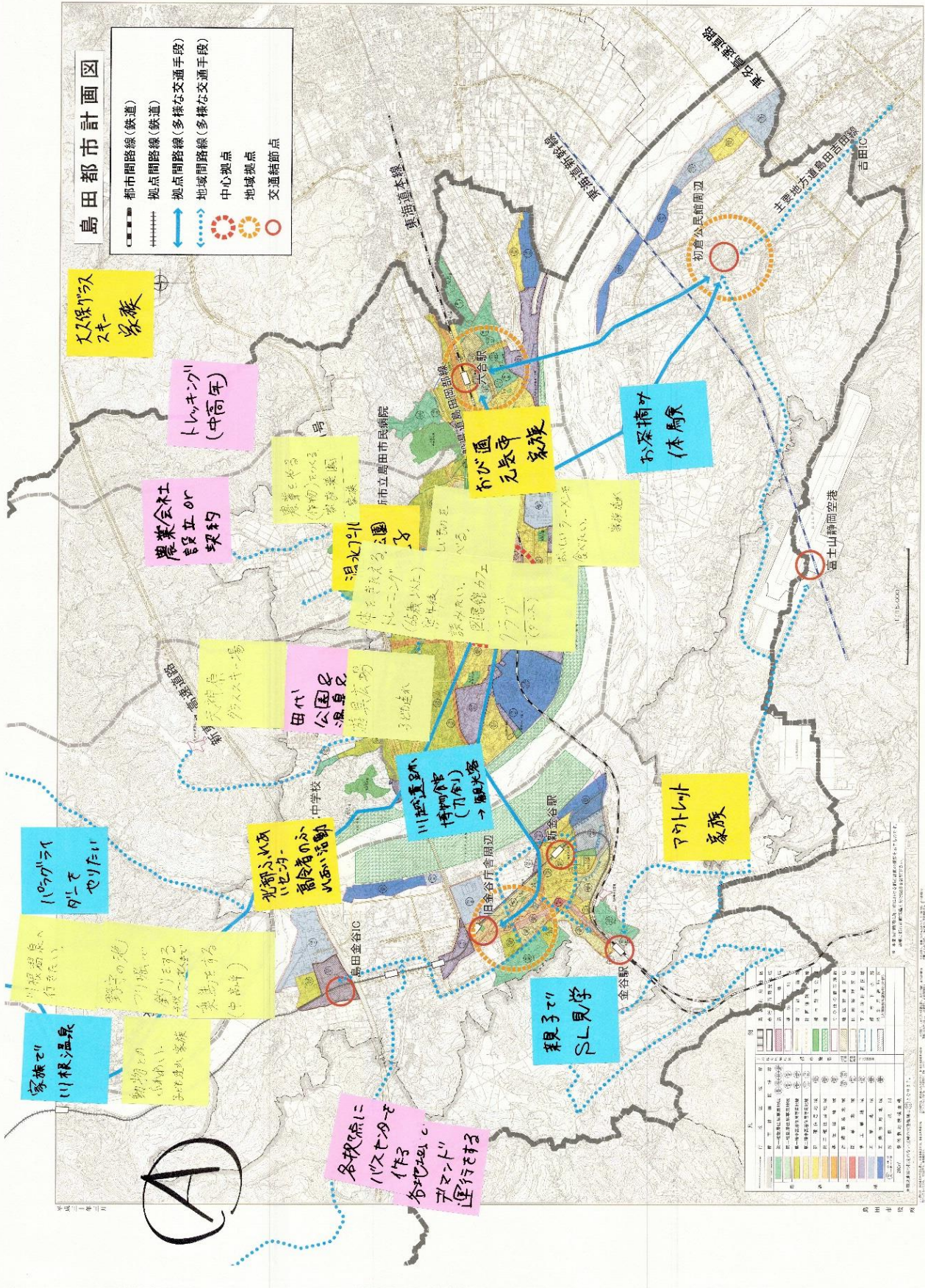
- ・コンパクト+ネットワークの都市づくりに向け、中心拠点及び地域拠点へ誘導したい機能や、ネットワークの手段となる公共交通について検討した。

### 《グループワークの結果（グループ発表）》

グループ	意見概要
Aグループ	<p><b>【拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・既にある施設に、新しく機能を付随させて利用を促進する方法について考えた。例えば、大井川にキャンプ場、大井川の橋の上に遊び場、蓬萊橋を渡った先にカフェ、駅前に親子で触れ合える広場を作る。駅前広場は、子供が自由に遊べる噴水を作るなどして、既存の施設を楽しめれば良いと思う。</li><li>・市の中心部分に農業体験ができる場所を作りたい。</li></ul> <p><b>【ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各拠点のバス停に乘客を集中させ、拠点間を移動するバスを基幹バスとし、本数を増やして運行する。</li><li>・拠点間を移動する方法として、Uberがある。Uberは世界中で利用されているサービスで、利用者がアプリで「誰か送ってくれる人はいますか」と聞くと、登録者の一般人が迎えに来てくれるサービスである。料金の支払いはUberの会社でやり取りするので安心安全だと思う。日本では、タクシー会社の儲けにならないのではという声などもあり、普及していないが、拠点間を移動する手段として有効だと思う。</li></ul>

# 島田都市計画図

- 都市間路線(鉄道)
- 拠点間路線(鉄道)
- 拠点間路線(多様な交通手段)
- 地域間路線(多様な交通手段)
- 中心拠点
- 地域拠点
- 交通結節点



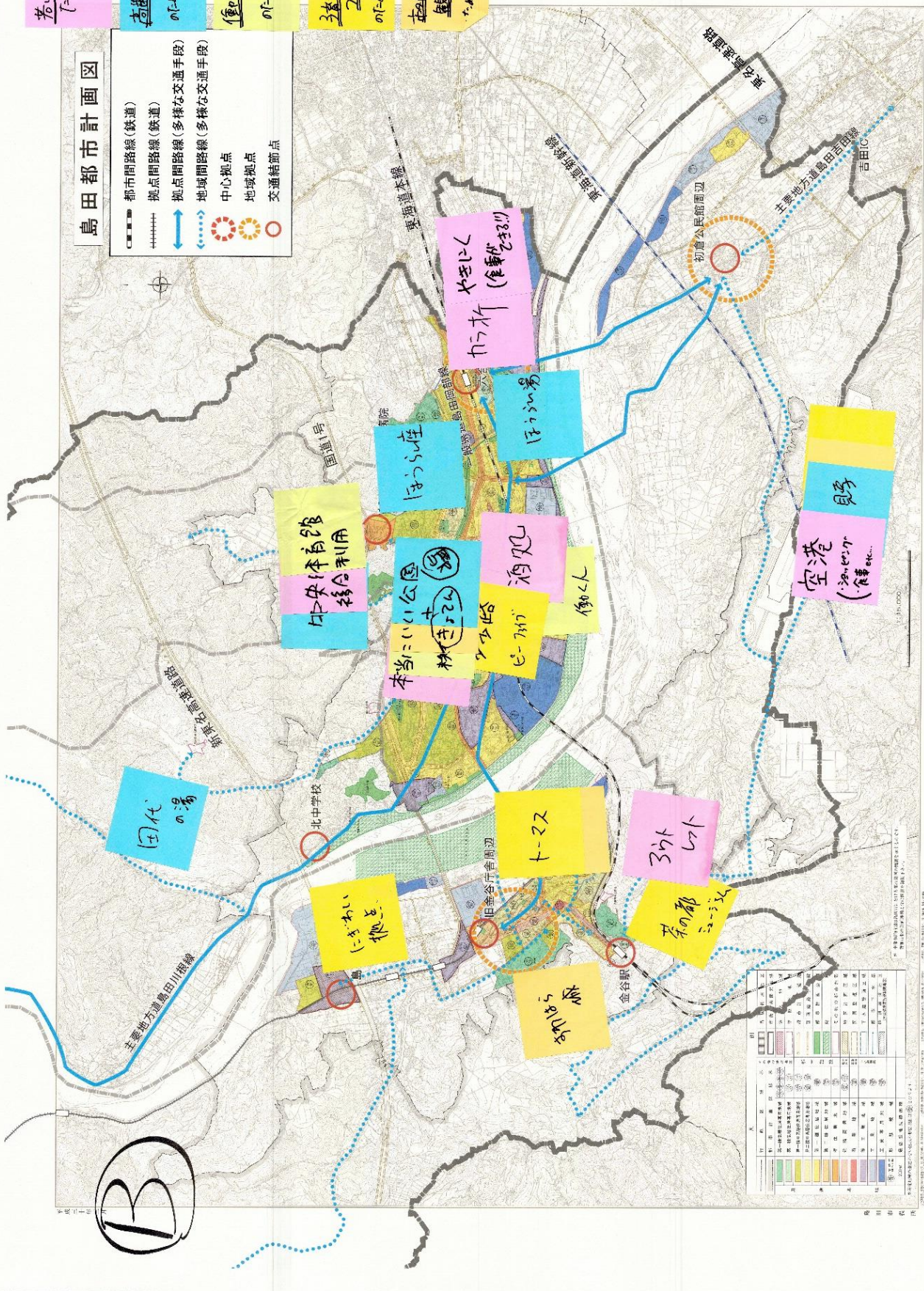
グループ	意見概要
Bグループ	<p><b>【拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的となる拠点は、年代によって異なると思う。</li> <li>・ 現在の島田市で拠点になりうる場所として、市民病院・駅・買い物ができる商業施設などが意見として出た。</li> <li>・ 大衆演劇場である蓬莱座は、利用者が多く、送迎サービスも実施している。娯楽を目的に訪れる人が一定数いて、こうした需要が島田市にあるならば、蓬莱座のような場所も拠点になりうるのではと考えた。また、蓬莱座に子育て世代が利用できる機能を足したら、子育て拠点になるのではという議論にもなったが、結論は出なかった。訪れる目的となる建物や場所・公共施設は、想像しているより意外と多いのではないかと思う。</li> <li>・ 蓬莱座のような施設は、特定の目的を持った人しか訪れないが、もし「いい公園」が近くにあったら、蓬莱座に興味のない人も家族連れで訪れるなどして、拠点になりうるのではないかと思う。例えば金谷にある大井川鐵道のSLや諏訪原城などの資源に、「いい公園」ができるだけで、行きたいと思う人以外も集まる拠点になるのではないかと考えたが、具体的な施設や場所までは落とし込めなかった。</li> <li>・ 高齢者は若者に比べて外出の機会が少なくなるが、温泉に行く人は多いので、何か目的があればおでかけをするのだと思う。</li> <li>・ 公共施設の中でも、中央体育館は体育施設としての機能だけではなく、さまざまないろいろな興行をやっている特殊な施設であり、面白いと感じている。もう少しテーマ性を帯びてくると、拠点になりうるのではないかと思う。</li> </ul> <p><b>【ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点になりうるものが駅周辺に多いので、施設が少ないほど移動が効率的になると考え、駅周辺に施設を集中させた方がいいと考えた。</li> <li>・ 公共交通は、例えば地域の拠点間はバス、拠点の周囲は小型バスなどで巡回する意見が出た。目的地と拠点の移動とは別に、細かい移動ルートができると効率的になるのではないかという意見が出た。</li> <li>・ 仕事帰りに駅周辺で飲むことを考えると、金曜日の夜 11 時にバスがほしいという意見が出た。島田駅から各地域へ向かう夜 11 時台のバスがあれば、利用率は高いと思う。ニーズに合った運行ならば、バスの本数が減っても満足度は上がると思う。</li> <li>・ 蓬莱座は送迎サービスがあり、駅から遠い場所にも送迎している。移動手段をすべて公共サービスに頼るのはなく、民間を利用してもいいと思う。</li> </ul>

- 若い人のための拠点
- 高鉄道路の拠点
- コンパクトの拠点
- 子育ての拠点
- 高齢者のための拠点
- 産業・観光の拠点

### 島田都市計画図

都市間路線(鉄道)  
 拠点間路線(鉄道)  
 拠点間路線(多様な交通手段)  
 地域間路線(多様な交通手段)

中心拠点  
 地域拠点  
 交通結節点



グループ	意見概要
Cグループ	<p><b>【拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点について、年代別と目的別について考えた。</li> <li>・年代別の拠点については、渋谷や巣鴨の地蔵通り商店街に似たような場所、家族で遊べる場所など、年代に合わせた場所を作ること考えた。</li> <li>・目的別の拠点については、笹間には芸術家が集まっているので芸術の拠点などを作ることを考えた。金谷にアウトレットができるが、健康志向の施設なので、商品を安く売る商業施設としての拠点だけでなく、健康志向の拠点になってほしい。</li> <li>・駅周辺に大きな拠点を作るべきだと思うが、人口が減ってきていることや、郊外に商業施設が増えて駅周辺の利用が減っているため、駅周辺には歩いてなんでも買える商店街を作ること考えた。お年寄り向けの商店街、ファミリー向けのレストラン、子供用品を扱う商店街など、さまざまな年代が利用できる商店街があればいいと思う。</li> </ul> <p><b>【ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島田にリトル東京を作るイメージで、目的別、年代別に拠点を作り、区域を分けるメリットは、年代や目的に合ったダイヤ設定ができ効率が上がることだと思う。例えばお年寄り区域としてリトル巣鴨を作れば、そこまで向かうバスの時間は、お年寄りの生活リズムに合わせて朝早くから夕方5時までの運行とする。若者が多く集うリトル渋谷は、午後から夜中までのダイヤにする。働くエリアのリトル新橋は、会社の勤務時間に合わせたダイヤにするなど、柔軟に公共交通のダイヤを変えることで、効率的に運用できると考えた。</li> <li>・終電の後に利用できるバスがないという意見が出た。田舎に住んでいると、夜遅くまで飲むことができないので、終電後に利用できる交通手段がほしい。大きいバスでなく、ワゴン車サイズのタクシーがあれば十分だと思う。また、タクシーだと金額が高くなるので、乗り合いにして利用額を割引にする。時間は、夜12時に島田駅発の、伊久身線・初倉線などがあると良いと思う。</li> </ul>

